

第2学年 国語科 学習指導案

日 時 令和6年9月25日(水)

第5校時 13:30~14:15

対 象 第2学年2組27名

1 単元名「自分とくらべて読み、とうじょうじんぶつに手紙を書こう」

教材名「お手紙」

2 単元の目標

◎身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。

◎文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもつことができる。

○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。

○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	進んで文章の内容と自分の体験とを結びつけて感想をもち、学習課題に沿って、登場人物に手紙を書こうとしている。



キャリアの目標（学習を通して自分がどのように変容したいかをイメージさせる。）

自分の感じたことや考えをもち、伝えることができる。

4 単元設定の理由

(1) 教材観

学習指導要領の目標及び内容の取り扱いとの関連は以下の通りである。

知識及び技能

- (1) オ 身近なことを表す語句の量を増やし話や文章の中で使うとともに語彙を豊かにすること。
- (2) カ 文の中における主語と述語との関係に気付くこと。

思考力、判断力、表現力等

C 読むことにおいて

- (1) エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。
- (1) オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。

本教材は、がまくんとかえるくんという二人の登場人物の、会話を中心に構成されている物語である。友達を思い、さりげない心遣いで喜ばせようとする優しさと友達を思う温かい心により、より深まる二人の友情が主題となっている。

「だれも、ぼくにお手紙なんかくれたことがないんだ。」と言いながらも、お手紙を待ち続けるがまくんの悲し

い気持ちを汲み取り、お手紙を出そうと思いつくかえるくん。この二人の友情を描いた物語である。自分の身近な存在である、友達を意識し始める二年生にとって共感しやすい教材だと言える。叙述を基にして、二人の会話や行動を中心に読み取らせ、二人の温かな交流やお手紙のやりとりによって深まった友情を感じさせたい。

(2) 児童観

本学級の児童は、物語の教材を読む学習にとっても意欲的に取り組む児童が多い。一学期に学習した「スイミー」では、場面の様子を想像しながらスイミーの一人ぼっちで悲しい気持ちや大きな魚を追い出すために知恵を絞る勇気を読み取ることができた。スイミーの気持ちを吹き出しに書いたり、学習のまとめに読み手からスイミーへ手紙を書いたりする活動を繰り返して、人物の行動に着目し心情を想像する学習を重ねてきた。しかし、これまで読んできた物語は、中心人物の行動を追えば大体の内容を理解できるものが多く、行動や会話の背景にある人物の心情について考えたり、二人の人物の心情を同時に考えたりすることができるまでには至っていない。

本教材「お手紙」と出会った児童は、「かえるくんは、何て優しいのだろう。」とかえるくんの人物像のイメージをもつと思うが、その優しさの具体まで考えられていないと思われる。そこで「かえるくんのどんな行動や会話が、読者に『優しい』と感じさせるのか」という課題のもとで、がまくんとかえるくんの行動や会話に着目させ、明示されていない二人の思いについて考えさせたい。

(3) 指導観（教師の願いと指導の工夫）



自分の思いや考えをもつために、誰を中心人物にとらえて読み進めていくかは、物語を読み深めていく上で、とても重要なポイントだと考えた。そこで、がまくんとかえるくんのどちらを中心人物だととらえるのか、「人物の心情の変容」から分析してみた。

物語の最初の場面では、二人とも悲しい気分で玄関前に腰を下ろして、最後の場面では、二人ともとても幸せな気持ちで座っている。挿絵からも分かるように二人とも変容していることが分かる。しかし、がまくんとかえるくんの変容とその変容をもたらした理由がそれぞれ異なる。例えば、物語の設定場面の心情で、がまくんが「かなしい」理由は「お手紙を一度ももらったことがない」からであると明確であるが、かえるくんが「かなしい」理由にあたる直接的な叙述は書かれていない。同様に、変容後のがまくんが「とても幸せ」になった理由は、「かえるくんからのお手紙が届くことを知り、またその文面に感動した。」等のように読み取ることができるが、かえるくんの変容の理由は、はっきりとは描かれておらず、叙述や挿絵を手がかりに読み手が想像することになる。物語文の場合、人物の心情がはっきりと描かれていないからこそ、読み手の想像力が刺激され、その人物の思いへの関心が高まるのではないか。したがって、かえるくんの変容を特に意識させるワークシートの作成や発問を中心に心情読み取りを行うこととした。

本時の場面では、がまくんとかえるくんの会話を中心に展開される。そこで、会話文の役割音読から、何度も話しかけるかえるくんの心情を想像させ、何度言い返されても話しかけるかえるくんの優しさを読み取れるようにした。

また、学習内容から自分の感じたことや考えたことに対して、毎時間振り返りを行う。低学年の児童が書きやすいように、はじめはかえるくんになりきって吹き出しにかえるくんの気持ちをかえるくんの言葉で書かせるようにし、段階を追って最終目標である「自分と比べて読み、登場人物に手紙を書く」へと、スモールステップでつなげていくことにした。

5 キャリア教育の目標に迫るための手立て



「自分の感じたことや考えをもつ」ために、心情読み取りの工夫を行う。

見つける力

・考える内容をしぼる。

- ① 中心人物をかえるくんにしぼる。
- ② 心情の焦点化（かえるくんの優しさを読み取る。）
- ③ 見つける→理由を考える→伝える→まとめる（活動の意識化）

物語の最初の場面では、二人とも悲しい気分で玄関前に腰を下ろして、最後の場面では、二人ともとても幸せな気持ちで座っている。挿絵からも分かるように二人とも変容していることが分かる。しかし、がまくんとかえるくんの変容とその変容をもたらした理由がそれぞれ異なる。例えば、物語の設定場面の心情で、がまくんが「かなしい」理由は「お手紙を一度ももらったことがない」からであると明確であるが、かえるくんが「かなしい」理由にあたる直接的な叙述は書かれていない。同様に、変容後のがまくんが「とても幸せ」になった理由は、「かえるくんからのお手紙が届くことを知り、またその文面に感動した。」等のように読み取ることができるが、かえるくんの変容の理由は、はっきりとは描かれておらず、叙述や挿絵を手がかりに読み手が想像することになる。物語文の場合、人物の心情がはっきりと描かれていないからこそ、読み手の想像力が刺激され、その人物の思いへの関心が高まるのではないか。したがって、かえるくんの心情を特に意識させるワークシートの作成や発問を中心に心情読み取りを行うこととした。

・理由を書かせる。

あらかじめ頭の中で考えた理由を文章として表出させておくことで、発表に対して苦手意識を取り除くことができる。また、理由を自分の言葉で書くことで、「発表したい。」「聞いてほしい。」と思わせることができる。

・学び合いの形態の工夫

自分の思いや考えを友達に伝えやすくするため、ペア活動を行ってから、全体共有を行う。対話的な学びを取り入れることで、自分の考えと同じ人がいることで発表に対して苦手意識を取り除くことができる。

6 単元の指導計画

時		目標 ●キャリア教育の視点	○学習活動	評価の観点と方法 ●キャリア教育の視点
1	第一次	物語を読んで感想をもつとともに、単元の見通しをもつことができる。	○範読を聞き、中心人物ががまくん、かえるくんであることをつかむ。 ○心に残ったことを中心に感想を書く。	【態】教材文を読んだ感想を伝え合い、見通しをもって学習を進めていこうとしている。 (発言・ワークシート)
2		場面の移り変わりや、登場人物の会話など、内容の大体を捉えることができる。	○全文を読み、二人の会話を整理する。 ○物語を4つの場面に分ける。 ○がまくんとかえるくんの会話だと分かるように、シールを貼る。	【知】文の中における主語と述語との関係に気付いている。 (発言)

3	第二次	かえるくんやがまくんの悲しくなった心情を読み取ることができる。	<p>○かえるくんの優しさが分かる行動・会話を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かえるくんの優しい気持ちが表れているところにサイドラインを引く。 ・優しさが分かる理由を書く。 <p>◎二人の悲しい気持ちは同じか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人の悲しい気持ちとその理由について、比較しながら話し合う。 <p>○登場人物になりきって語りかけるような形式で吹き出しを書かせる。</p>	<p>【思】お手紙をもらえないことを悲しむがまくんと、それを見て悲しむかえるくんの気持ちを読み取ることができる。(発言・ワークシート)</p>
4	第二次	手紙を書いたかえるくんの心情を読み取ることができる。	<p>○かえるくんの優しさが分かる行動・会話を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かえるくんの優しい気持ちが表れているところにサイドラインを引く。 ・優しさが分かる理由を書く。 <p>◎かえるくんが急いでいると、なぜ優しいと思うのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がまくんを喜ばせるために大急ぎで家に帰り内緒で手紙を書くかえるくんの優しさを読み取る。 <p>○登場人物になりきって語りかけるような形式で吹き出しを書かせる。</p>	<p>【思】かえるくんが、急いでお手紙を書こうとする表現から、かえるくんの優しさを読み取ることができる。(発言・ワークシート)</p>
5 (本時)		<p>繰り返される表現から、かえるくんの優しさを読み取ることができる。</p> <p>●自分の感じたことや考えをもち、伝える。</p>	<p>○かえるくんの優しさが分かる行動・会話を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かえるくんの優しい気持ちが表れているところにサイドラインを引く。 ・優しさが分かる理由を書く。 <p>◎がまくんに何度言われても、話しかけるのはどんな気持ちなのか考える。</p> <p>○読み手から語りかけるような形式で吹き出しを書かせる。</p>	<p>【思】お手紙が来ないとあきらめているがまくんの様子を捉え、かえるくんと会話のやり取りからがまくんにお手紙を待つてほしいと願うかえるくんの優しさを読み取ることができる。(発言・ワークシート)</p> <p>●自分の感じたことや考えをもち、伝えることができる。</p>

6		二人の心情の違いを読み取ることができる。	<p>○かえるくんの優しさが分かる行動・会話を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かえるくんの優しい気持ちが表れているところにサイドラインを引く。 ・優しさが分かる理由を書く <p>○二人のとても幸せな気持ちの違いについて考える。</p> <p>○読み手から語りかけるような形式で吹き出しを書かせる。</p>	【思】「ああ。」という言葉から、手紙をもらえることと、手紙の内容に感動したがまくんの気持ちを考えることができる。 (発言・ワークシート)
7		お手紙を待つ、かえるくんとがまくんの二人の会話を想像して書く。	<p>○お手紙を待っている二人の気持ちを比較して考える。</p> <p>○お手紙を待っている間、二人はどんな会話をしていたか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中に書かれていない人物の心情を想像して、物語の中で起きた出来事やその時の心情などを自分の言葉で書かせる。 	【思】表現を比べ、お手紙を待つ二人の気持ちを読み取り、より深まった友情を読み深めることができる。 (発言・ワークシート)
8 ・ 9	第 三 次	「お手紙」の学習を終えて、感じたことを話し合う。	<p>○読み手としてがまくん、かえるくんに対してお手紙を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めてお手紙をもらったがまくんがどんな返事を書いたのか心情を想像し、手紙を書く。 <p>○書いたお手紙を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手が自分の体験と比べて書いた手紙をペアやグループで交流し、感じたことを話し合う。 	【思】かえるくんへの手紙を発表し合い、一人一人感じ方の違いに気づいている。 (手紙・発表)

7 本時 (5/9)

(1) 本時のねらい

- ① 繰り返される表現から、かえるくんの優しさを読み取ることができる。
- ② キャリア教育の目標

キャリアの目標 (学習を通して自分がどのように変容したいかをイメージさせる。)



自分の感じたことや考えをもち、伝えることができる。

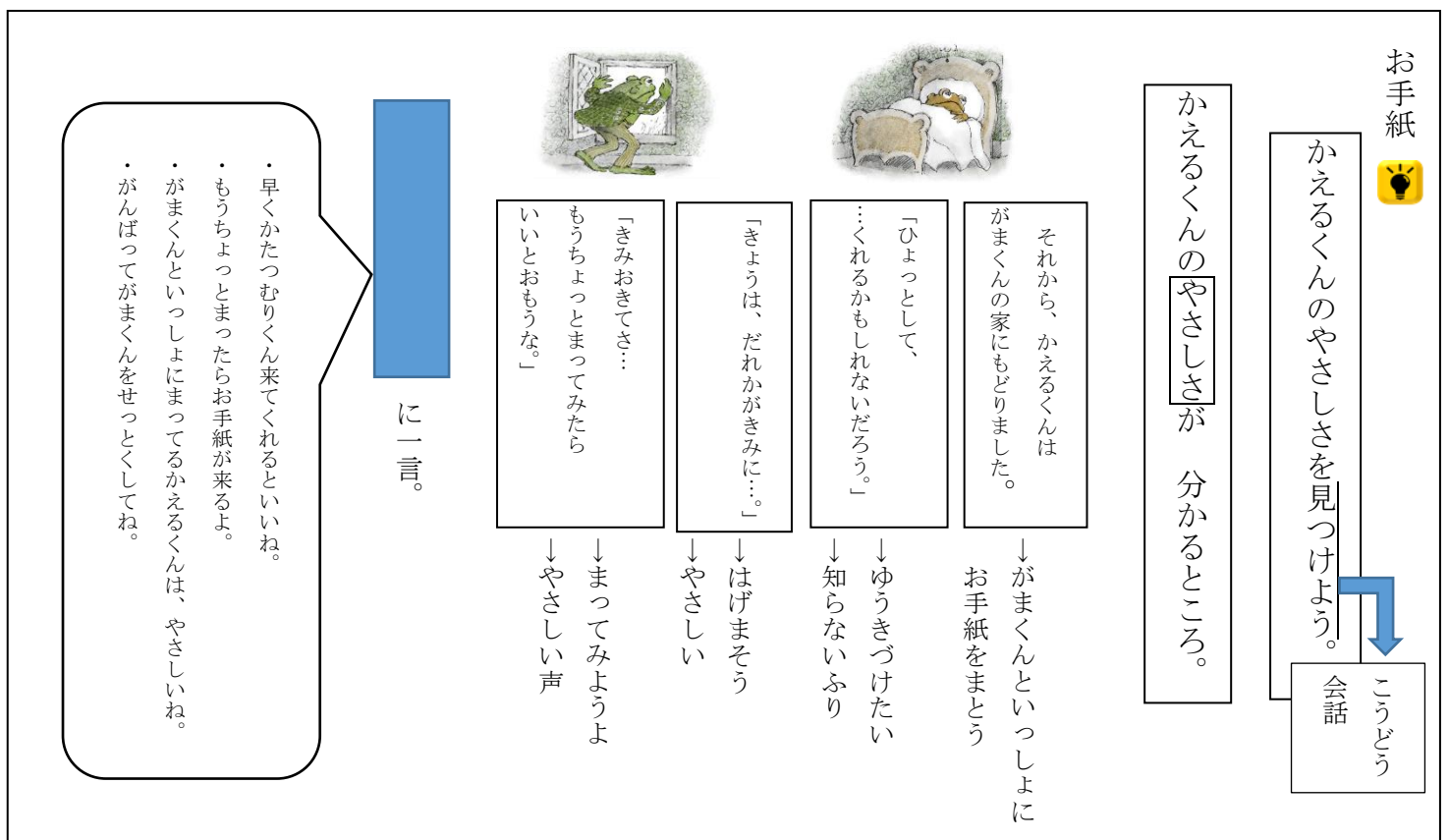
(2) 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ◇評価基準 ★キャリア教育の目標に迫るための手だて
導入	<p>1 本時の学習のめあてを確かめる。</p> <p>○前は、がまくんへの手紙を大急ぎで書くかえるくんの様子や気持ちを読み取り、がまくんのために「誰かのため」に急ぐことは優しいのかについて考えました。</p>	

	<p>○かえるくんはどんなところが優しいと思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「がまくんが、一度もお手紙をもらったことがないから悲しいことを知って一緒に悲しい気持ちになったところが、がまくんのことを大切に思っていて優しいと思いました。」 <p>○今日もかえるくんの優しさを見つけながら読んでいきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の感想から、がまくんの家に帰ったかえるくんとがまくんの様子を問いかけ、かえるくんの行動や会話を見つけながら読むことを確認する。
<p>展開</p>	<p style="text-align: center;">かえるくんのやさしさを見つけよう。</p> <p>2 音読をする。</p> <p>○17 ページの「それからかえるくんは、がまくんの家へ戻りました。」から、21 ページの「きょうだって同じだろうよ。」の部分を音読しましょう。</p> <p>3 かえるくんの「優しさ」の根拠となる行動や会話の叙述に着目し、サイドラインを引き、理由を発表し合う。</p> <p>○ どんなどころに注目して読んでいけばいいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動や会話です。 <p>○かえるくんのがまくんへの優しさが分かる行動や会話を見つけ教科書に線を引きましょう。そして、なぜ、そこに引いたのか理由をワークシート書きましょう。</p> <p>○では、かえるくんの優しさが分かるところとわけを教えてください。まずはペアで発表しましょう。</p> <p>○ペアで交流したことをみんなに教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「それから、かえるくんは、がまくんの家へ戻りました。」のところで、一緒にお手紙を待とうとしたから優しいと思います。 ・「きみ、おきてさ、お手紙が来るのを、もうちょっとまってみたらいいと思うな。」のところです。 ・「ひょっとして、だれかが、きみにお手紙をくれるかもしれないだろう。」のところで、元気づけようとしていると思います。 <p>「だれかが」という言葉から知らないふりをしてお手紙を待っている優しさがあると思います。</p> <p>○がまくんは待つ気になってくれましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言い返している。だんだん言い方が強くなっている。 <p>○かえるくんは、どんな風に言っていると思う？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やさしく。」「はげますように。」 	<ul style="list-style-type: none"> ★中心人物をかえるくんにしぼり、かえるくんの「優しさ」を読み取らせる。（読み取る心情の焦点化） ★自分の考えた理由を書く時間を確保する。 ・見つけた優しさと理由がたくさん記入できる児童には、追加のプリントに書き足す。 ★発言しやすいようにまず、ペアで話し、それから学級全体で交流する。 <p>◇評価基準</p> <p>お手紙が来ないとあきらめているがまくんの様子を捉え、かえるくんと会話のやり取りからがまくんにお手紙を待つてほしいと願うかえるくんの優しさを読み取ることができる。（発言・ワークシート）</p>

	<p>○がまくんに何度言われても、話しかけるのはどんな気持ちなのかを考えながら、かえるくんやがまくんになりきってペアで音読をしましょう。</p> <p>4 かえるくんやがまくんに、自分自身から語りかけるような形式で吹き出しを書かせる。</p> <p>○今日自分が見つけたかえるくんの優しさを振り返り、かえるくんやがまくんに伝えたい自分の思いを書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かえるくんが話しかけるが、その度に言い返すがまくんと会話の繰り返しに気付かせる。 ・低学年の児童が書きやすいように吹き出しに、自分の言葉で書かせる。
まとめ	<p>5本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p> <p>○今日の授業で、自分の考えをもち、伝えられたかを振り返りましょう。</p>	

板書計画



8 研究授業の視点

- ・心情の焦点化（かえるくんの優しさを読み取る。）をし、考える内容を絞ることは、自分の思いや考えをもつために効果的であったか。
- ・自分の考えに理由を書かせ、その考えをペアで共有することが、全体での発表に対して苦手意識を取り除く手立てになっていたか。

9 成果と課題

- ・中心人物をかえるくんにしぼることやかえるくんの気持ち（優しさ）の読み取りに特化することで、一人一人の学びを深めることができた。
- ・ペア活動を取り入れることにより、自分の思いや考えを友達に伝えやすくなった。
- ・自分の思いや考えを友達に伝えやすくするため、ペア活動を行ってから、全体共有を行ったが、友達の思いや

考えを聞いたことから思いの変容が出てきた児童がいると思われる。今後は、なぜ考えを変えたのかという理由が書けるワークシートの工夫や、対話的な学びの充実を図り意欲的に取り組める環境づくりを心がけたい。